

# 北部機械金属業界の景況動向

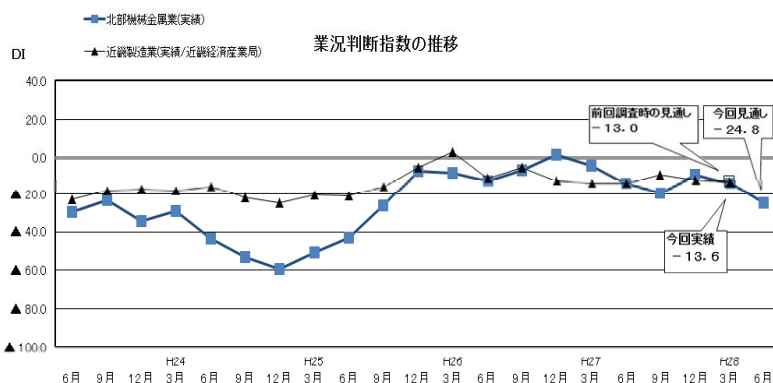
## (2016年1~3月実績/2016年4~6月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業181社 【調査時点 平成28年3月下旬】
- 回答数：125社（回答率69.1%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:25、舞鶴市:20、綾部市:19、宮津市・与謝郡:11、京丹後市:50
  - ②取扱別 = 一般機械:46、電気機械:15、輸送機械:29、精密機械:11、その他:18、未回答:6  
 (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等  
 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1~9人:32、10~19人:27、20~49人:39、50~99人:13、100人以上:13、未回答:1
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

### — 調査結果 —

#### 1 景況動向判断

●1~3月実績のDI(業況判断指数)は -13.6 となり、10~12月期(以下「前回」)より4.6ポイント低下した(前回-9.0)。地域別では、福知山市域は 4.0(前回11.5)となり前回より低下したが、プラス域の結果となった。舞鶴市域は-5.0(前回 -5.3)、綾部市域は-31.6(前回-27.8)、宮津市・与謝郡域は-36.4(前回-38.5)、京丹後市域は -14.0(前回-6.3)であった。舞鶴市域、宮津市・与謝郡域は僅かに改善した。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●4~6月見通しのDIは-24.8と、前回より11.8ポイント低下の見通しとなった(前回-13.0)。地域別では、福知山市域は-12.0(前回 7.7)、舞鶴市域は-30.0(前回0.0)、綾部市域は-36.8(前回-33.2)、宮津市・与謝郡域は-45.5(前回-53.8)、京丹後市域は-20.0(前回-10.7)であり、北部地域全体がマイナス域の見通しとなった。宮津市・与謝郡域のみ前回と比べて改善の見通しとなっている。

景況動向判断1~3月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	0.8	17.6	49.6	30.4	1.6
福知山市	20.0	64.0	16.0		
舞鶴市	25.0	45.0	30.0		
綾部市	10.5	47.4	42.1		
宮津・与謝		63.6	36.4		
京丹後市	2.0	20.0	42.0	32.0	4.0

景況動向判断 4~6月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	12.0	51.2	35.2	1.6	
福知山市	8.0	72.0	20.0		
舞鶴市	5.0	60.0	35.0		
綾部市	5.3	52.6	42.1		
宮津・与謝		54.5	45.5		
京丹後市	22.0	36.0	38.0	4.0	

#### 2 採算状況

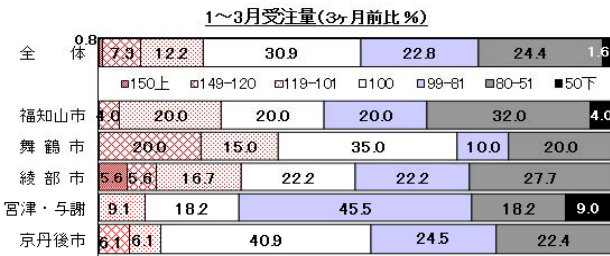
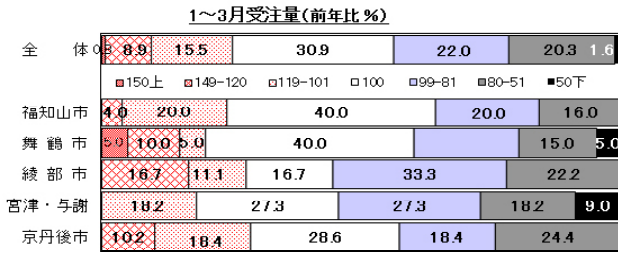
●1~3月の採算状況は、赤字とする企業が16.8%(前回14.7%)と2.1ポイント増加した。地域別では、福知山市域、綾部市域、京丹後市域は黒字とする企業が赤字とする企業を上回っており、舞鶴市域は、赤字とする企業と黒字とする企業が同数であり、宮津市・与謝郡域においては、黒字とする企業が皆無であった。

1~3月採算状況

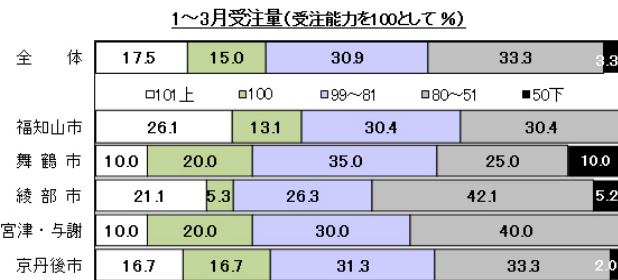
地域	黒字	トントン	赤字
全体	24.8	58.4	16.8
福知山市	24.0	68.0	8.0
舞鶴市	20.0	60.0	20.0
綾部市	31.6	47.4	21.0
宮津・与謝		72.7	27.3
京丹後市	30.0	54.0	16.0

### 3 受注量

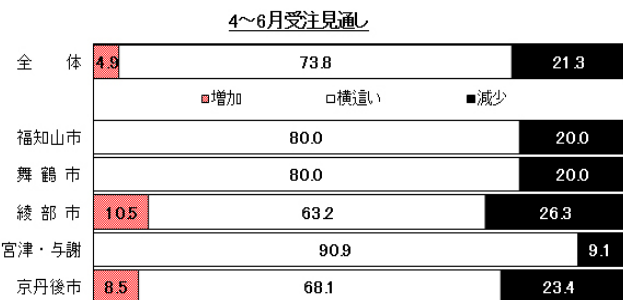
- 1～3月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は56.1%（前回58.7%）と2.6ポイント減少した。対3か月前比100%以上を確保した企業は51.2%（前回62.5%）と11.3ポイント減少した。舞鶴市域、綾部市域、京丹後市域では5割以上の企業が3か月前比100%以上の受注を確保している。



- 1～3月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は32.5%（前回41.0%）と8.5ポイント減少した。全地域において受注能力100%以上の受注確保が5割を割り込んでいる。

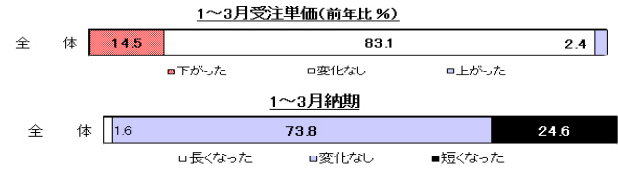


- 4～6月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合は4.9%（前回8.3%）と3.4ポイント減少し、減少を見込む企業の割合は21.3%（前回15.7%）と5.6ポイント増加の見通しである。



### 4 受注条件（受注単価／納期）

- 受注単価が上がったとする企業は2.4%（前回1.7%）と0.7ポイント増加し、受注単価が下がったとする企業は14.5%（前回10.2%）と、4.3ポイント増加した。また、納期が短くなったとする企業は24.6%（前回25.6%）と1.0ポイント減少した。



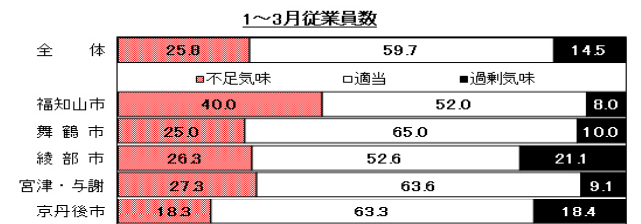
### 5 資金繰り

- 資金繰りは、悪化とした企業が14.4%（前回10.6%）と前回より3.8ポイント増加した。舞鶴市域、綾部市域、宮津・与謝郡域では好転とする企業が皆無であった。



### 6 従業員数

- 従業員数は、不足気味が25.8%（前回32.5%）、過剰気味が14.5%（前回12.2%）となった。京丹後市域以外は、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。



### 7 今後の事業での重視機能

- 今後の事業で一番重視する機能は、全体で「生産」とされる企業が46.6%と最も多いが、「開発」を重視する割合は、綾部市域26.3%、舞鶴市域22.2%が高く、「営業」を重視する割合は、綾部市域31.6%、京丹後市域26.3%が高かった。

